

編集後記

No-Dig Today 100号を迎える

JSTT・日本非開削技術協会〔1989年4月設立（当初名称：技術センター）〕の機関誌 No-Dig Today（当初名称：非開削技術）が創刊されたのは1992年10月、本誌は年4回発刊（季刊）ですので、以降25年間発刊を重ね、今回めでたく創刊以来100号を達成することができました。ここに、これまでの多くのご愛読者皆様のご支援、発刊に携わった（故人を含む）先輩諸氏、関係者の皆様のご尽力に対し改めて厚く感謝と御礼申し上げます。

JSTTそもその設立趣旨は、道路下に構築する種々の地下基盤について、道路を掘り返さずにできる築造、保守点検、補修改築、施設更新の（非開削）技術に関する情報交流の場の創設でした。技術情報交流とは、収集と発信の相互作用になりますが、その相対する位置には日本と諸外国間であったり、また国内では地下基盤で事業展開を図る各事業者間であったりもします。

我が国の事例を見るまでもなく、都市の道路下には上下水道をはじめ、ガス、電力、通信事業者などが夫々に地下パイプラインを構築し、事業運営を図っています。当然ながら、それらの適正な事業運営により、都市として必要なインフラ機能が担保されることになります。各々の基盤事業は、公共事業ないしは公益事

業としての性格から、夫々に関連する事業法の規制や指導監督の下、適正な事業執行が確保されますが、ここに一つの課題もありました。それは、各事業法を所管する官庁や部署が全て異なることでした。とは言っても、逆に、これら全ての事業を一つの官庁、部署で所管することなど、所詮、超非現実的なこととなります。未来永劫、その実現は不可能、ありえない状態です。各事業者と所管官庁、部署が対一関係となると、事業に関連した技術情報もその間でのやり取りで終結する場合が多く、社会一般には適宜に伝播、普及することは極めて稀でした。上水道事業で有効な技術を下水道事業関係者が熟知することは難しく、電力事業で活用される技術も通信サイドにはうまく伝わらないことも多かったでしょう。同じような地下パイプライン基盤で成り立つ事業間であっても技術情報はうまく浸透しないのが実態でした。

では、各事業者間での情報交換が難しいのなら、それらの技術を開発、発展させ、各事業の場で駆使し、社会的な評価を得ている企業間ではどうか。これについても、我が国社会の古き良き伝統かもしれないが、“事業一家制”みたいな風潮が身に染みており、各企業も一つの特定期間での営業活動、生計確定が、社是とは言わないものの基本方針とされているようで、事業の壁を越えて自らの技術

を売り込む営業活動を控えていたかもしれません。場をわきまえた企業活動とも言えます。その結果として、同種の企業間であっても、有効有益な最新技術情報の伝播はレアであったと見られます。

道路下の地下パイプライン基盤を事業形成の前提とすること、その共通性を有する事業間での技術情報の交流の場を創設することが、正しくJSTT・日本非開削技術協会の本質的かつ不変的使命であり、その機関誌である「No-Dig Today」の本質的機能であると断言できます。

今日、多くの都市では、遅れていた下水道の整備も進み、各種地下基盤が一応の概成を迎えています。が、この見方を変えれば、各事業ともこれから本格的な再構築時代を迎えることになります。であれば、その手法として、部分補修であれ、改築、敷設替えであれ、これからの都市にとって道路の開削工事は許しがたい行為となるに違いない。

以前、ある医療業界の方の講演でお聞きしたことが、心筋梗塞の患者さんに対する治療手法で大きく開胸する外科手術を「高侵襲治療」と呼び、足の付け根の動脈からステントを挿入するカテーテル治療を「低侵襲治療」と呼ぶらしい。「侵襲」とは恐ろしい言葉だ。非開削技術こそ街に対して、正しく「低侵襲」だ。

〈編集委員長 石川和秀〉

訃報



99号に寄稿をいただきました、(株)イセキ開発工機 平井正哉様のご病気のため、3月31日にご逝去されました。ここに生前のご厚情に深く感謝すると共に、ご冥福を心よりお祈りいたします。

No-Dig Today

No.100 2017 Jul. 平成29年7月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：安中徳二

印刷所：株式会社 LSプランニング

ご案内

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料（税込み）

1冊 1,620円（本体1,500円）〒400円

1ヵ年（4冊）6,480円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上、掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2017 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。